

## 【概要説明】

## 地域人材の育成・定着に向けた産学官連携プラットフォーム構築（案）

## 1 目的

- 若者の地元就学・就職、起業・創業、事業承継、雇用の確保、クリエイティブ人材の還流など、地域の将来を支える人材をどのように育成し、定着させていくかは、産業界、教育界、行政が共通して抱える喫緊の課題です。
- 人口減少・高齢化の進展<sup>(※)</sup>など社会構造の変化を背景に、社会を支える「地域人材の育成・定着」の重要性は、今後ますます高まっています。
- <sup>(※)</sup> 国の推計では、2060年には人口は約22万人まで減少し、高齢化率は40%まで上昇する見込み
- 本プラットフォームは、「地域人材の育成・定着」をテーマに、産業界・教育界・行政が、地域の課題を共有し、各々の役割や立場を超えて、お互いの強みや経営資源を持ち寄りながら課題解決に取り組むための枠組みです。

## 2 本市における位置づけ

## (1) 県都まえばし創生プラン

基本目標 2 若者の定着と高齢者の活躍により地域の活力を維持する

優先課題 3 若者の総数の減少

事業 No.19 大学等の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等の充実</li> <li>・大学等及び産学官の連携強化</li> <li>・市内大学等への進学や市内企業への就職を後押しする支援制度の検討・実施（奨学金や大学等のPR支援）</li> </ul>
事業 No.20 学生の定着促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COC+の枠組み活用によるインターンシップ等により、地域人材の育成と市内就職を促進</li> <li>・市内企業と市内大学との交流の場の創出</li> </ul>
事業 No.21 UIJ ターンの奨励	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UIJ ターン者と受入企業への奨励金</li> <li>・卒業後も前橋と繋がり続ける方策の検討</li> </ul>
事業 No.22 ベンチャーヘブン前橋の実現	
事業 No.23 市内企業の事業承継・人材育成支援	

## (2) 第七次前橋市総合計画

第5章 魅力あふれるまちづくり（シティプロモーション）

重点施策 2 移住定住促進

施策の方向性 (3) 若者が市内に定着するきっかけを創出します

重点事業 No.37 若者の定着促進

### 3 プラットフォーム構築（案）

#### (1) 概要

- ・「地域人材の育成・定着」をテーマに、産学官が連携・協働して課題解決に取り組む枠組み
- ・産業界、教育界、行政それぞれの自主的・自律的な取り組みに加え、お互いの強みや経営資源を持ち寄りながら、より効果的な対策を講じる
- ・テーマの選定や部会の構成等は、協議会において議論を予定する
- ・事業の実施を支える財政支援についても検討を予定する

#### (2) イメージ図

